平成25年5月7日

各 位

上場会社名　日本電計株式会社
代表者　代表取締役社長 原　潤一郎
(コード番号　9908)
問合せ先責任者　代表取締役専務 佐藤　信介
(TEL　03-3251-5731)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年2月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	70,000	1,800	1,900	1,300
今回修正予想(B)	71,587	1,981	2,350	1,429
増減額(B-A)	1,587	181	450	129
増減率(%)	2.3	10.1	23.7	9.9
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	67,973	1,688	1,684	1,393

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	65,500	1,350	900
今回修正予想(B)	66,443	1,793	1,054
増減額(B-A)	943	443	154
増減率(%)	1.4	32.8	17.1
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	65,025	1,411	1,141

修正の理由

個別では、第3四半期までは主要ユーザーの設備投資に慎重な姿勢が見られる中で、自動車関連業界の海外生産シフトに伴い生産設備向けの試験機等の売上が好調に推移したことや、新エネルギー関連業界の開発も積極的に行われていることから、計画を上回る売上高を確保できました。第4四半期は、円安と株価の上昇により経済環境に明るさが見えてきたものの実態経済への波及までに至らず、想定を僅かに上回る程度の売上を確保することができました。
通期ベースで粗利益率が、0.33%程度改善したことに加え、3月末は、前期と比較して大幅に円安となったことから、評価差損益を含めた為替差損益は、想定を上回り、通期で約3億円の差益を計上することとなったため、経常利益が当初予想を大幅に上回る結果となりました。
　連結では、中国では欧州の経済危機の影響で欧州向け輸出が減少し、尖閣問題を契機とした対日輸出入も減少するなど景気に鈍化傾向が見られるものの、アジアの新興国の中心としての地位を維持していることもあり、販売子会社である電計貿易(上海)有限公司の業績が好調でした。また、性能試験や安全性試験のアウトソーシングが活発化したため、中国国内で受託試験場を提供している電計科技研発(上海)有限公司の業績も良好に推移いたしました。東南アジアでは、ベトナム、タイの子会社でも過去最高の業績を挙げることができました。
　その結果、連結・個別の業績は、売上高、営業利益・経常利益・当期純利益ともに、前回発表予想を上回る見込みであります。

以 上